

総合海洋政策本部参与会議（第39回）議事概要

◆日時：平成30年3月9日（金）10時00分～12時15分

◆場所：中央合同庁舎4号館11階 第1特別会議室

◆議事概要（参与の発言は○で示す。）

1. 開会

〔配布資料について事務局から確認があった。〕

2. 次期（第3期）海洋基本計画の検討状況について

〔資料2について事務局から説明があった。意見交換は非公表。〕

3. 報告事項

〔資料3について事務局から、資料4について高島参与から、資料5について文部科学省から説明があった。以下、意見交換。〕

- 洋上風力の法案について、この参与会議で議論できなかったのが残念。
最近、多様な主体が海洋分野に関係して利害関係者が膨らんでいる。これまでのような関係者のみとの調整でよいのか危惧しており、どのような協議会を設置し、運営されていくのか注視していきたい。促進区域に海洋保護区が設定されている場合、環境省が加わっていくことが重要ではないか。

- 一方で、従来の権限配分に基づく海洋政策の実施を強化するとともに、他方で、総合海洋政策本部および事務局が、総合的・統合的な海洋政策を策定していくこと、両者が並行して発展することが、日本の海洋政策にとって必要。その観点から、今回の法案は、よい実践を示した。

4. 閉会

以上